

サラ・ピッカリング

Sarah Pickering

1972年イングランド、ダラム生まれ。ロンドン在住。ロイヤル・カレッジ・オブ・アートで写真を学ぶ。卒業年の05年に若手の登竜門であるイースト・インターナショナルに入選。同年にジャーウッド写真賞と、卒業年の学生に贈られるフォトグラファーズ・ギャラリーのawardも受賞。それらの作品に写るのはダイナミックな爆破のシーンや、一見家に見えるが実はプロップに過ぎない塀など。前者は英国の警察と軍隊が訓練用に使っている点火装置による起爆シーンを撮ったもので、後者もまた警察の訓練場。写真に撮るという行為自体が虚構への第一歩であるが、ここでは被写体自体もリアルに見えるながらシミュレーションという捻りが加えられている。



Napalm
Explosion series
2005
Photograph



Fire Burst
Explosion series
2004
Photograph



River Way(Road Block)
Public Order series
2004
Photograph